

2022年5月1日

うるま YA！ 今回のおすすめメニュー

『ペンギンの憂鬱』
Смерть Постороннего
(新潮クレスト・ブックス)

NO IMAGE

アンドレイ・クルコフ著 沼野恭子訳 新潮社

所蔵館：中央館 請求記号：983 ク

【ちょっとあじみ】

ソ連崩壊後のウクライナ首都キエフに住む売れない小説家のヴィクトル。経営難の動物園から引き取った憂鬱症のペンギン“ミーシャ”と暮らしていましたが、生活のために新聞社からまだ生きている政治家や軍人たちの追悼記事をあらかじめ書くという不思議な仕事の依頼を受けます。知人からあずかった四歳のソーニャ、ベビーシッターのニーナと疑似家族的な生活を送るようになるなか、記事を書いた大物たちがつぎつぎと死んでいき、やがてヴィクトルたちの周囲にも不可解な出来事が…。ロシア語の原題は「局外者の死」という意味。単純なハッピーエンドでは終わりませんが、読み終わったあとは、だれもがペンギンのミーシャのその後が気になってしまうはず。